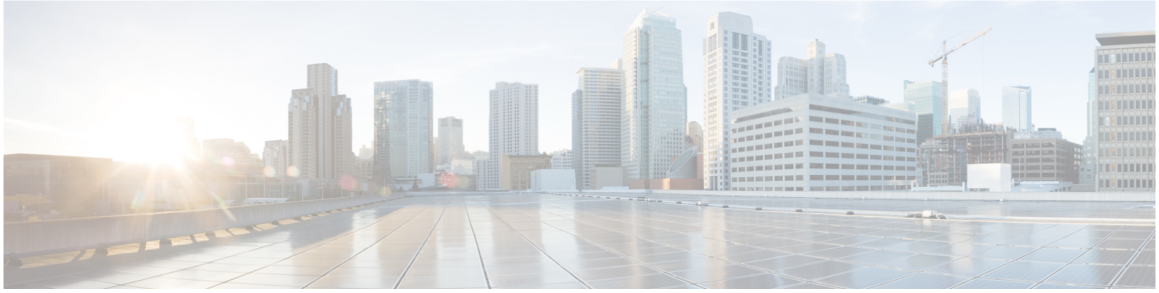


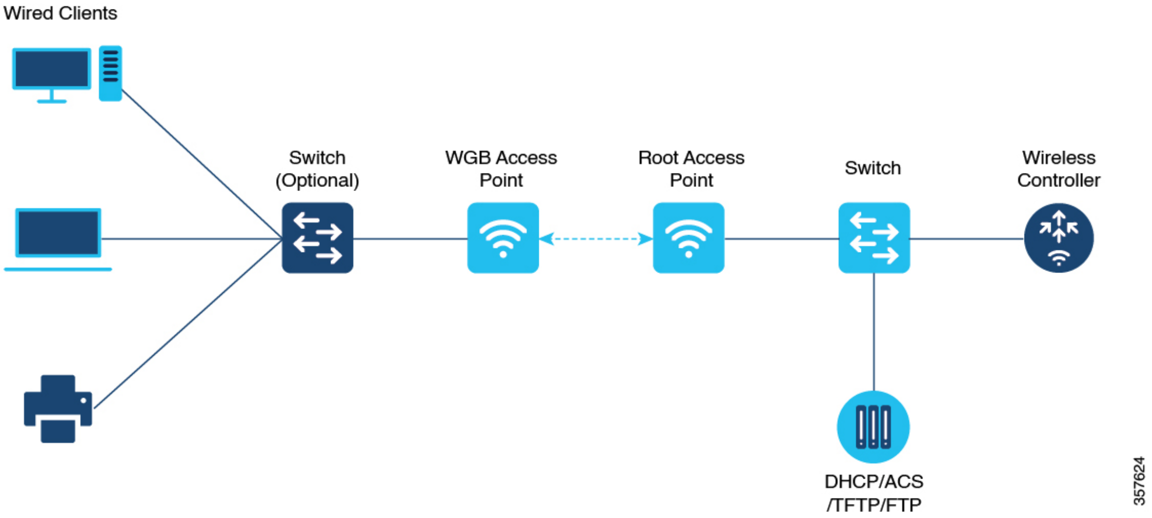
# ワークグループ ブリッジ


- Cisco ワークグループ ブリッジ （1 ページ）
- WLAN でのワークグループ ブリッジの設定 （3 ページ）
- ワークグループブリッジのステータスの確認 （4 ページ）


## Cisco ワークグループ ブリッジ

アクセスポイント（AP）モードのワークグループブリッジ（WGB）は、イーサネットポートで WGB AP に接続される有線クライアントへのワイヤレス接続を提供します。WGB はイーサネットインターフェイス上の有線クライアントの MAC アドレスを学習し、Internet Access Point Protocol（IAPP）メッセージングを使用してインフラストラクチャ AP（ルート AP）に報告することで、1 つのワイヤレスセグメントを介して有線ネットワークに接続します。WGB はルート AP への単一のワイヤレス接続を確立し、ルート AP は WGB をワイヤレスクライアントとして扱います。

**図 *1 : WGB* の例**




組み込みワイヤレスコントローラ の WGB でサポートされるモードは次のとおりです。

- Flex モード：中央認証とローカルスイッチング。

> 注　中央認証は Wave 1 および Wave 2 AP でサポートされていますが、ローカルスイッチングは Wave 2 AP でのみサポートされています。

次の機能は WGB での使用をサポートされています。

**表 1 : WGB 機能マトリックス**

| 機能 | Cisco Wave 1 AP | Cisco Wave 2 AP および 11AX AP |
|---|---|---|
| 802.11r | サポート対象 | サポート対象 |
| QOS | サポート対象 | サポート対象 |
| UWGB モード | サポートあり | サポート対象外 |
| IGMP スヌーピングまたはマルチキャスト | サポート対象 | サポート対象 |
| 802.11W | サポート対象 | サポート対象 |
| PI サポート（SNMP なし） | サポートあり | サポート対象外 |
| IPv6 | サポート対象 | サポート対象 |
| VLAN | サポート対象 | サポート対象 |
| 802.11i（WPAv2） | サポート対象 | サポート対象 |
| ブロードキャストのタグ付け/複製 | サポート対象 | サポート対象 |
| ユニファイド VLAN クライアント | 暗黙的にサポート（CLI は不要） | サポートあり |
| WGB クライアント | サポート対象 | サポート対象 |
| 802.1x：PEAP、EAP-FAST、EAP-TLS | サポート対象 | サポート対象 |
| NTP | サポート対象 | サポート対象 |
| すべてのLANポートで有線クライアントをサポート | Wired-0 および Wired-1 インターフェイスでサポート | すべての Wired-0、1 および LAN ポート 1、2、3 でサポート |

表 *2 : AP* での *WGB* サポート

| WGB の WLAN サポート | Cisco Wave 1 AP | Cisco Wave 2 AP |
|---|---|---|
| Central Authentication | サポート対象 | サポート対象 |
| ローカル スイッチング | 未サポート | サポート対象 |

### WGB の制約事項

- 組み込みワイヤレスコントローラまたは AP 上の WGB 有線クライアントでは、中央認証およびローカル認証はサポートされません。
- MAC フィルタリングは、有線クライアントではサポートされていません。
- アイドル タイムアウトは、WGB と有線のどちらのクライアントでもサポートされません。
- セッション タイムアウトは、有線クライアントには適用されません。
- Web 認証はサポートされていません。
- WGB は最大 20 のクライアントのみをサポートします。
- 証明書のチェーンを使用する場合は、すべての CA 証明書をファイルにコピーし、WGB のトラストポイントにインストールします。そうしないと、サーバー証明書の検証が失敗する可能性があります。
- WGB に接続している有線クライアントは、セキュリティについて認証されません。代わりに WGB が、アソシエートしているアクセス ポイントに対して認証されます。そのため、WGB の有線側を物理的に保護することをお勧めします。
- WGB に接続された有線クライアントは、WGB の QoS および AAA オーバーライド属性を継承します。
- WGB がルート AP と通信できるようにするには、WLAN を作成し、[Advanced] 設定で Aironet IE が有効になっていることを確認します。

# WLAN でのワークグループ ブリッジの設定

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---|---|---|
| ステップ 1 | **configure terminal**<br>例 :<br>`Device# configure terminal` | グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---|---|---|
| ステップ 2 | **wlan** *profile-name*<br>例：<br>`Device(config)# wlan wlan-profile` | WLAN コンフィギュレーション サブモードを開始します。wlan-profile は設定されている WLAN のプロファイル名です。 |
| ステップ 3 | **ccx aironet-iesupport**<br>例：<br>`Device(config-wlan)# ccx aironet-iesupport` | この WLAN の Aironet IE のサポートをイネーブルにします。 |
| ステップ 4 | **no shutdown**<br>例：<br>`Device(config-wireless-policy)# no shutdown` | WLAN を再起動します。 |

# ワークグループブリッジのステータスの確認

- WGB の数を表示するには、次のコマンドを使用します。

  **show wireless wgb summary**

  次に、出力例を示します。

```
Device#show wireless wgb summary
Number of WGBs: 1
MAC Address    AP Name                          WLAN State             Clients
---------------------------------------------------------------------------------
7070.8b7a.7030 Ed2-JFW-AP1                      1    Run               1
```

- WGB の詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

  **show wireless wgb mac-address** *MAC-address* **detail**

  次に、出力例を示します。

```
Device#show wireless wgb mac-address 7XXX.8XXa.7XXX detail

Work Group Bridge

MAC Address        : 7XXX.8XXa.7XXX
AP Name            : Ed2-JFW-AP1
WLAN ID            : 1
State              : Run

Number of Clients: 1

MAC Address
------------
d8XX.97XX.bXXX
```

- コントローラのクライアントの詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

**show wireless client mac-address** *MAC-address* **detail**

次に、出力例を示します。

```
Device#show wireless client mac-address 7XXX.8bXX.70XX detail

Workgroup Bridge
Wired Client count : 1
```

- 次に、出力例を示します。

```
Device#show wireless client mac-address d8XX.97XX.b0XX detail
Workgroup Bridge Client
WGB MAC Address : 7XXX.8bXX.70XX
```